

BUN-KA Kariya Culture [ブンカ] vol.10 平成27年1月1日発行 January 1, 2015 Issue design / Takasu Yuka 発行 〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104 編集 文化工房カリヤ編集部 2-104, Wakamatsuchō, Kariya-shi, Aichi, 448-0858, Japan edit/Bunkakouboukariya public relations section 文化工房カリヤ

BUN-KA

Kariya Culture [ブンカ]

新春号
vol.10
2015



「ぶんかのめスペシャル」ゴスペラーズ
酒井雄二さん
独占インタビュー!!

初回生産限定盤
KSCL-2521~23 4,167円
通常盤
KSCL-2524~25 3,518円

好評発売中!
デビュー20周年記念ベストアルバム「G20」

文化工房カリヤ

刈谷市総合文化センターアトリウム イベント

artMarché

アートマルシェ



アートマルシェ ちょこっと裏話

その1「チラシが茶色いワケ」

他とはちょっと違ったアートマルシェの茶色いチラシ、お手に取った事がありますか?
「おしゃれ♪」や「地味!」など感想は様々ですが、これには理由があるのです。『アートマルシェ』は『芸術市場』を意味する造語。出演者を出店者、来場者を買物客と見立て、賑わう市場を想像してみてください。お店の人と気軽に会話をし、お気に入りを見つけて買い物をします。お店の人はとびっきりの笑顔でその商品を茶色い紙袋に入れて渡してくれました。さあ、ピンとききましたか?チラシの紙、この紙袋をイメージしたものなのです。茶色いチラシにお気に入りを包んでお持ち帰り下さいね。
そして、おかげさまでアートマルシェは開催2周年を迎えることができました!ありがとうございます。次回は公演準備の裏話をちょこっと語ります。[担当:柴田・手塚]



公演スケジュール

- ♪N°15 1月31日(土)14:00~15:00
「一足先に春を待つ ほかほかコンサート」
【出演】茉莉花(も〜り〜ふぁ)二胡アンサンブル/Kariyars(かりやーず)アコースティックグループ
- ♪N°16 3月7日(土) 時間未定
【出演】天神山プラスアンサンブル/リーオ・スチールパン・チーム/青春応援団 我無沙羅

お知らせ

平成27年度<前期>出演者募集

募集期間:2月1日(日)~2月20日(金)
※応募に際しては、必ず募集要項または総合文化センターHPで詳細をご確認ください。

市民目線の“キキミ”文化

文化工房カリヤ
カリチャー
倶楽部

毎週水曜日
午後4時から
1時間放送

Pitch FMラジオ番組

83.8MHz

ふと直接お声を聞きたくなって ...来場者突撃インタビュー

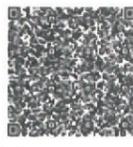
「知人が出演者だったので初めて来た」「たまたま通りかかった」「気軽に楽しんで良かった」「いい場所、いい機会だった」「若い人が観に来て、いろんなことをやって欲しい」「また来ます」などなど。アートマルシェは気軽に足を止め、仕事や家事に追われる毎日を少しだけ忘れられる良い空間になっているようでした。

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp



- Twitter: @B_K_kariya
- Facebook: bunkakouboukariya
- Blog: bkkariya.wordpress.com

FREE

ぶんかのめ Special

刈谷出身注目アーティストにお聞きしました!



ぶんかのめ vol.9

さかいゆうじ 1972年10月、刈谷市西境町生まれ。愛知県立刈谷高等学校を卒業後、1992年早稲田大学第一文学部社会学専修に入学。早稲田大学アカペラサークル「Street Corner Symphony」で村上でつや、黒沢薫と出逢う。1994年、メンバー入替によってゴスペラーズの一員となり、同年12月在学中にメジャーデビューを果たす。2000年「永遠(とわ)に」が大ヒット。以降も「ひとり」「星屑の街」「ミモザ」など多数のヒット曲を送り出し、不動の人気を確立。2014年12月にはデビュー20周年を迎え、ゴスペラーズの更なる活躍を期待される。



ゴスペラーズ 酒井雄二氏

通りすがりの人も振り向かせたい

ヴォーカル・グループとして音楽を奏で続け、デビュー20周年を迎えたゴスペラーズ。メンバーの酒井雄二さんは、刈谷市出身で、昨年11月に9年ぶりに刈谷市でコンサートを行いました。生まれ育ったまち刈谷、音楽についてBUN-KA独占インタビューに答えていただきました。

一 おさりのラジオが「音楽への窓」

兄弟のラジオを黙って借りて自分の物のように使いながら、ラジオにかじりついて聞いていた音楽が自分にとっての「音楽への窓」でした。

ラジオから流れてくる音楽、色々な音楽を僕に聞かせてくれたから、音楽が好きになっていきました。自分で興味を持ったアーティストのCDを買ったり借りたり。

ラジオを聴いていたことでアナウンサーとか喋ることへの興味も持ちました。例えばCBCの小堀さんは音楽が好きで喋りが面白くて、自分にとってお手本でした。

一 日本初のアカペラサークルとの出会い

歌手になろうとして上京したわけではないのです。一段モチベーション

が低くてモラトリアムなので、受験に失敗して浪人をして、早稲田大学だけが唯一いらっしゃいと言ってくれたんです(笑)。でも、そこへ行ってみたところやっぱりさすが都会の大学、人も多くサークルも多岐にわたってました。どのサークルに入ろうかと思ってたとき、「アカペラ」というチラシが貼ってありました。高校時代、浪人中に聞いたラジオでアカペラ聞いたなと思って。「さすがだな、そんなサークルまであるんだ！」これは当時ほんとに偶然なんですけど、そのサークルがほぼ日本で唯一のアマチュアのアカペラをやるサークルだったんです。じゃあ、やってみようかと…それがきっかけです。何がどう転ぶか全くわからないですね。受験には失敗してるんですけど(笑)。

一 ゴスペラーズデビュー20周年

20年だからどうぞすごいだろという顔は一切出来ません。50年以上活動されている先輩、ダークダックスさん、デュークエイセスさん、ボニージャックスさん、そういう凄い先輩がまだ上にいますからね！自分たちはCDの売り上げも順調で、コンサートの動員があり、どんど

んと大きい場所で出来る様になりました。これは続けていくための自信というか、まだまだやっていっていいんだという気持ちにメンバー全員が思っています。

一 地元、刈谷

ホッとする場所は実家。あと、富士松FCのカップ戦の後援をしています。面白いご縁でそこに関わることになって、たまに帰郷すると一緒になって、ボールを蹴っています。地元の人と会うとき、かつての同級生と出逢い同窓会のような気持ちになるとき、あー刈谷に帰って来たと思います。出身校である富士松北小学校の「北っ子の森」が好きです。今や向こう半分が刈谷ハイウェイオアシスで、それで何かあるとあそこを歩いてみたりしています。他には無いところだと思います。富士松北小学校のグランド中央にある「アベマキの木」。学校は今年で107年目ですね。あんな贅沢な小学校はないですね。僕らが住んでる辺りでは、秋祭りで餅投げは外せないんです。子供の頃は拾う側で、大人になったら厄年になったら、櫓の上から投げられるんだという気持ちで、地域の人が

外からもドンドン集まってくる、あの祭りの熱狂がすごく好きで、24歳の時は残念ながら仕事で来られません。一昨年の42歳の厄年で念願の餅投げをした体験は、一世一代の大舞台でした。紅白の櫓の上から当たりくじの入った餅を投げると、下の皆が熱狂するこれが僕の考える地元刈谷かな…。

一 刈谷の良さを伝える「ことば」

今回刈谷のコンサートをやるにあたり、ゴスペラーズのメンバーから、刈谷の良い所、美味しいもの、見所はどんな所?と聞かれて、パッと言えませんでした。

自分の好きな所、人に見せたい刈谷はとっさに出てこないんですよ。何も無いところだけど、この刈谷の良さを伝える「ことば」を持ちたいですね…皆さんなりに見つけてください、刈谷の良さを発信していけたら素晴らしいと思います。



取材後記

アーティストとして第一線で活躍しているにもかかわらず、地元に対する想いを聞いて、嬉しく思いました。あの澄んだ歌声でこれからも多くの方々に音楽や夢を伝えてくれることを心より応援したいと思います。【担当:井野・真果】



■酒井雄二さんのインタビューは、BUN-KA紙面に載せきれないほど多く語っていただきました。残りのインタビューは、文化工房かりやのブログをご覧ください。https://bkkariya.wordpress.com/

SCOOOP!

2014年11月16日(日)

刈谷に

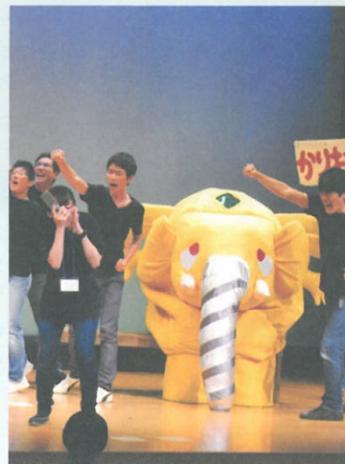
“演劇ファン”が増えた!

文化工房かりや第4回企画公演 市民劇「かりおが僕らにくれたもの」無事終了

市民劇

く僕か
れらり
たにお
もの
civil
絆家族とは

「演劇に興味を持ってもらい、面白さを知ってもらいたい。」という私達の想いを込めた企画に40名の市民出演者が集まり、半年前から30回ほどの練習を重ねてきました。思うように進まない練習に、台本・配役の変更をするなど、演出の兵藤先生は苦悩されたようでした。出演者の皆さんは厳しい指導に耐え、涙ながらに頑張りました。そして、文化工房のできる限りのサポート…最後はみんなが一つになって芝居を創り上げ、会場いっぱいのお客様に拍手をいただくことができました。『かりお』ってなんだったんだろう?絆って何?と考えていただけたなら嬉しいです。今年も文化工房かりや、刈谷の魅力と題材とした舞台公演をおこないます。刈谷にもっと演劇が広まるように…ますます皆さんと一緒に演劇を楽しんでいきたいと考えています。【担当:野村・鈴木】



- お客様からの声
 - ・初めて観た演出です。本当に出演者と会場が一体ですね。
 - ・落ち着きませんでした。
 - ・涙が止まりませんでした。浄化されました。
 - ・人間なんてそんなもんだよな。
 - ・かりおの存在を通して、人の感情の逃れられない悔しさが胸にしみて自分の正しいと思うことをしたいという勇気ももらった。
- 市民出演者の皆さんからの声
 - ・凄く緊張感で刺激になりました。ワークショップは本当に楽しくて、演劇初心者の方には驚きと発見の連続でした。
 - ・兵藤先生の心を動かす指導は、ワクワクドキドキしてとても充実していた。
 - ・多くの人達に自分達の想いを届けられたかな。
 - ・また機会があれば参加したいです。